

来日して間もない日本語が全くわからない児童生徒に対し、初期の段階で適切な日本語指導を行うことに重点を置きながら、学習言語能力児童生徒に対しても、個々の日本語能力の状況に応じた適切な指導体制を継続的に実施できるよう日本語指導センター校を核とした日本語指導体制づくりを発展させていく。外国人幼児児童生徒の増加・多言語化・散在化（一部集住化）を踏まえ、本市7区の地理的条件や対象児童生徒の移住地に適した体制整備を行っていく。日本語指導センター校を担当エリア制とし、日本語指導に不安を抱える在籍校へ助言やプレスクールを実施する等の取組も展開していく。

堺区

日本語指導センター校
（他校通級）
2校設置

日本語指導教室（自校通級）
小学校へ複数設置

北区・東区・美原区

日本語指導センター校
（他校通級）
北区へ2校設置

日本語指導教室（自校通級）
小学校へ複数設置

南区

日本語指導センター校
（他校通級・遠隔指導拠点）
2校設置

日本語指導教室（自校通級）
小学校へ複数設置

中区・西区

日本語指導センター校
（他校通級）
中区へ2校設置

日本語指導教室（自校通級）
小学校へ複数設置

R6年度

- 日本語指導教室（自校通級）は継続設置。非常勤講師の配置も継続。
- 堺区・北区・南区・中区の日本語指導センター校（他校通級・遠隔指導）を1校ずつ継続設置⇒日本語指導教室（自校通級）がない児童生徒は、他校通級又は遠隔指導により日本語の初期指導を受ける。また、他校通級指導や遠隔指導に加え、日本語指導センター校に配属された日本語指導等対応教員が対象児童生徒在籍校へ巡回することによって、在籍校教員への指導支援を行う。日本語指導センター校へ遠隔指導担当者を1名配置し遠隔による合同授業を行う。
- 小学校への日本語指導センター校の設置。
- ICTの翻訳機能を活用したさまざまな支援の啓発。
- 初期指導を終えた学習言語能力習得レベルの全ての児童生徒に対し、日本語指導センター校教員が日本語能力のみとりを行い、在籍校や日本語指導員に共有できる「日本語指導・支援シート」を作成する。
- プレスクール実施。
- 日本語と教科の統合学習の推進。アドバイザー派遣による日本語指導に関する研究支援。

R7年度

- 日本語と教科の統合学習の推進。
- 専門性のある小学校教員の育成を行う。

R8年度

- 専門性のある小学校教員の育成を行う。
- 保護者への日本語指導支援